

地域活性化活動助成事業報告書

山口市立大内中学校
校長 田原 暢也

1 はじめに

本校は広大な敷地に加え、のり面や竹林等に囲まれており、その環境整備に莫大な労力を要する。また、校舎改築等に伴い、以前からあった花壇はアスファルトに覆われ、少し殺風景な環境にある。生徒の心を豊かにし、潤いのある学校環境作りに力を入れるため、「保護者・地域と連携した学校環境整備」をテーマに掲げ、地域活性化活動助成事業に申請し、地域協育ネットやPTAと連携を図りながら取組を進めてきた。

2 活動の概要

(1) 竹林の伐採

本校の敷地の東側には、竹林(私有)が広がり、校舎東側の教室の採光を妨げており、長年の懸案事項の一つであった。そこで、地域協育ネットのメンバーの方が竹林の所有者に相談し、竹林の伐採の許可を取っていただいた。令和3年5月8日(土)地域協育ネットのメンバーやPTA有志、森林組合の方や本校職員等、総勢30名あまりで竹林伐採に取り組み、校舎周辺が大変見通しのよい風景に激変した。これまで常に薄暗かった教室に陽が入り、生徒の教室環境を大いに改善することができた。



分担して伐採した竹を処理



農協から借りた粉砕器を使用



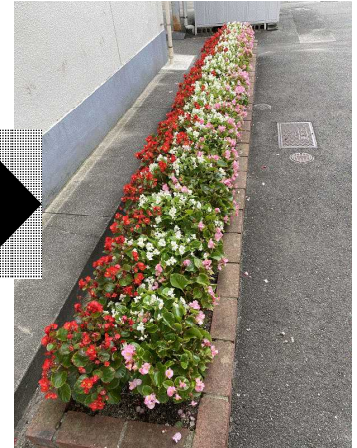
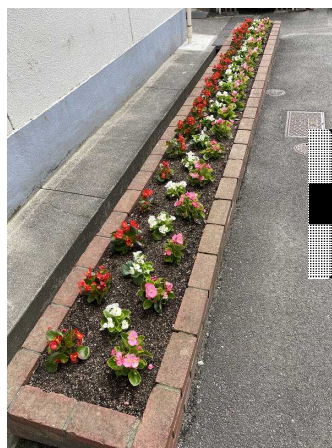
見事に伐採され採光十分

(2) 花壇の整備

① 夏用花壇

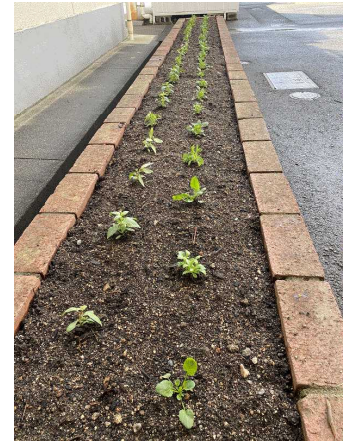
本校にある貴重な花壇に、ベゴニア60本を移植した。

夏の暑い日も環境委員会の生徒が水遣りを丁寧に行い、大変見応えのある花壇になった。



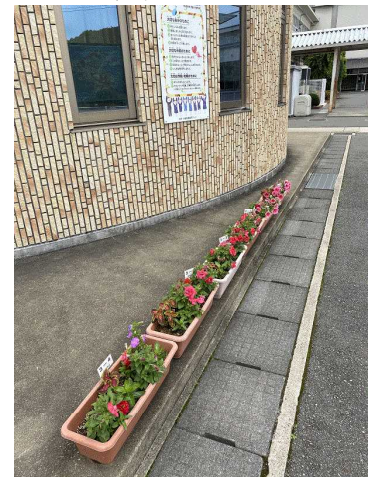
② 春用花壇

11月に入り、春用花壇の苗として、ビオラ、金魚草、アリッサムスノードリフトを移植した。この苗は、種から育てた苗で、市販されている苗に比べると成長具合は遅いが、厳しい冬の寒さに耐え、春先に美しい花を咲かせてくれることを願っている。



③ 学級プランター

学級花壇のスペースが全くないため、本校では各学級ごとに生徒昇降口等にプランターを設置している。少し寂しい気もするが、各学級の環境委員会の生徒が中心となって、苗植えから水遣りまで責任をもって行っている。



各学級の夏用のプランターの様子



各学級の秋用のプランターの様子

(3) 校舎内外の環境整備

6月26日(土)には、地域協育ネット及び青少年育成協議会が中心となったボランティア清掃活動を、また、8月22日(日)には、職員作業(当初はPTA作業を予定していたが、コロナ禍の影響で職員作業に変更)で校舎内外の清掃活動を実施した。6月の作業では、広大なのり面の草刈りを中心に行ったが、草刈り機10数台での作業で、午前中で完了することができた。また、8月の作業では、草刈りに加え、校舎内の壁のペンキ塗りやトイレ、手洗い場等の清掃を行い、2学期に気持ちよく生徒を迎える準備が整った。



刈った草を集めるのも大変!



校舎内の壁面のペンキ塗り

(4) 芝桜の移植

校訓碑のある周辺は、サツキなどで庭園風になっている場所がある。そこで、その周辺の地面に芝桜を植え、来春の開花まで世話をすることにした。場所が2年校舎の昇降口付近にあるため、来年度2年になる現1年生の掃除区域の生徒が移植した。登下校時に芝桜を見て心豊かになってくれることを願って。



学校庭園に植えた芝桜の苗

3 終わりに

花壇が極端に少ない本校の実情に合わせ、プランター等を活用して1年中花のある環境づくりに取り組んできた。また、学習環境の向上をめざし、校舎内外の整備にも取り組んできた。今後は、PTAや地域協育ネットの活動等とタイアップし、生徒の心が豊かになる学校環境整備に引き続き取り組んでいきたい。